

第73回
山梨 神奈川
スケート
国体
第3日

第73回国民体育大会冬季大会のスケート・アイスホッケー競技会は第3日の29日、山梨、神奈川両県で3競技を行った。県勢はフィギュア少年女子で廣谷帆香(八工大)が総合9位、大澤寧子(三沢)が同21位となり、都道府県別成績で7位と2年連続の入賞を果たした。アイスホッケー成年は初戦の2回戦で香川を9-0で破り、準々決勝に進出。スピードは少年男子1500㊦の清川一樹(八戸西)、同1万㊦の根城知哉(同)、村崎翔太(八学光星)、成年女子1500㊦の古庄亜衣(八戸学院大)が決勝へ駒を進め、少年男子500㊦の赤坂仁(八戸西)は順位決定戦のB決勝へ回った。成年男子1500㊦の山本大史(八戸西出、明大)は準決勝へ進んだ。第4日の30日、県勢はスピード9種目に出場するほか、アイスホッケーは成年が準々決勝で長野と、少年が初戦となる準々決勝で福岡と対戦する。

(古川靖隆、泉匠哉)

清川、根城(八戸西)村崎(光星)決勝へ
少年男子

古庄(八学大)も進出
成年女子



【スピード成年女子500㊦準決勝1組】5位で決勝進出を逃した鬼頭(八学大、黄色帽子)＝山梨県富士急ハイランドセイコーオーバル

鬼頭にアクシデント
○：成年女子500㊦準決勝、鬼頭(八戸学院大)は転倒した先行選手

を避けてペースを乱し、5位と決勝進出を逃した。「(最初の)100㊦で出遅れた分、コーナーで前に出ようと思ったからアクシデントが起きた」と悔しそ。

国体は、単一レーンを集団が一斉にスタートするシングルトラックレースで、密集で転倒するケースもある。鬼頭は「アクシデントへの対応も実力のうち」と気持ちを切り替え「明日の1000㊦は決勝へ行きたい」と前を向いた。